

## 交流文化学科開設10周年 記念式典など記念イベントを実施

11月16日、外国語学部交流文化学科が天野貞祐記念館大講堂で10周年記念式典を開催し、在学生、卒業生、教職員らが来場した。

式典では、犬井正学長の挨拶に続いて、高橋雄一郎同学科教授が設立趣旨や成り立ちについてエピソードを交えて紹介した。その後行われたパネルディスカッションでは、パネリストとして木原涼子さん(14年卒)、石野隆美さん(16年卒)、殿岡夢さん(17年卒)が登場。鈴木涼太郎同学科准教授の進行で「卒業して今感じることを現在の仕事や研究内容を交えて話した。その後、学生食堂で茶話会が行われ、参加者は親交を深めていた。

また、記念事業の一環で11月13日から11月27日まで、西棟で写真展「Portraits of Refugees in Japan 難民はここ(日本)にいます」が開催された。



パネルディスカッションの登壇者

## 自律学習支援特別講座 開催 落語家の林家たま平氏が来学

11月20日、学生センター雄飛ホールで、教育研究支援センター主催の第1回自律学習支援特別講座「落語家が教える『伝える力』～人の心をつかむプレゼン技術～」が開催された。講師として落語家の林家たま平氏が来学した。

当日は2部構成で行われ、第1部では同氏が実体験やユーモアを交えて、人の心を掴む話し方のポイントなどについて講演。第2部では、演目『死神』を披露。これは、失敗続きで生きることを諦めかけた主人公が、死神から授かった特別な力を使い、報酬を得ることで贅沢な暮らしを始めるが、ルールを破ったことにより寿命が尽きてしまうという古典落語。観客は、同氏の声の抑揚やしぐさ、表情などから、その世界に引き込まれている様子だった。



## 地域総合研究所シンポジウム 「埼玉の魅力創出、発信と埼玉の未来」を開催

10月26日、天野貞祐記念館大講堂において、地域総合研究所主催のシンポジウム「埼玉の魅力創出、発信と埼玉の未来」が行われ、学生や一般参加者180人が来場した。

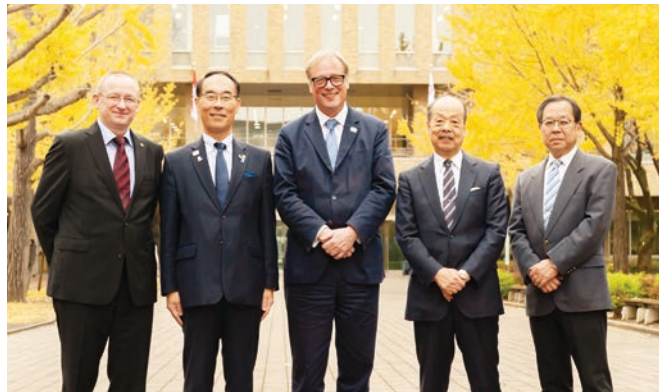
当日は、倉橋透地域総合研究所所長が埼玉の未来像をどう描くかについて問題提起を行い、脚本家の徳永友一氏(01年卒)が「映画『翔んで埼玉』脚本執筆に際して考えたこと」というタイトルで基調講演を行った。その後、鈴木涼太郎交流文化学科准教授、森永卓郎経済学科教授も交え、テーマについて活発な議論を行った。森永教授は東京都心部との比較で埼玉の住みやすさと魅力を力説し、鈴木准教授は地域の身近な価値を観光の対象とすることの重要性を指摘した。来場者からも多くの質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われた。



## 埼玉県・ブランデンブルク州(ドイツ)姉妹提携 20周年記念「日独シンポジウム」開催

11月27日、天野貞祐記念館大講堂で、埼玉県・ブランデンブルク州姉妹提携20周年記念「日独シンポジウム ～日独両国の更なる協力の可能性と自治体の役割～」が開催され、学生や一般来場者など約250人が来場した(主催:埼玉県、共催:獨協大学)。当日は、大野元裕埼玉県知事、犬井正学長の挨拶の後、クラウス・フィーツェ在日ドイツ連邦共和国大使館首席公使の基調講演、ライナー・クナイフェル=ハヴァーカンブ同州法務・ヨーロッパ・消費者保護省法務・国際局長の講演が行われた。その後行われた、岡村りらドイツ語学科准教授による「地方自治体の役割」と題した講演で、岡村准教授は「首都に接している都市部と豊かな自然を有する地域が共存している両自治体には、自然や技術、学問、観光など様々な強みがある。それを最大限に生かすには、自治体の努力は不可欠だが、それだけでなく市民の協力・参加も重要である」と述べた。

また、本シンポジウムのプレイベントとして「ブランデンブルク州プレゼンテーション」と「ブランデンブルク州パネル展示会」が学生センター1階雄飛ホールで行われた。



左からフィーツェ公使、大野知事、クナイフェル=ハヴァーカンブ州局長、犬井学長、山路朝彦副学長

## 学長予定者に山路朝彦教授 今月の理事会で正式決定

犬井正学長の任期満了に伴う学長予定者選挙が12月11日に行われ、山路朝彦教授が学長予定者に選出された。同日行われた全学教授会では、山路教授を次期学長として理事会に推薦することが承認された。

山路教授は、外国語学部ドイツ語学科所属。81年東京外国語大学大学院外国語学研究所修士課程ゲルマン系言語専攻ドイツ語修了。86年獨協大学外国語学部専任講師、90年外国語学部助教授、01年外国語学部教授。

役職歴は、94～96年外国語学部教務主任、97～01年学長室委員、03～07年学生部長兼敬和館長、08～12年教務部長、12年から現在まで副学長兼総合企画部長および獨協学園理事。1953年生まれ。

1月30日に行われる理事会で承認されると、山路教授は4月1日付で第11代学長に就任することになる。任期は2024年3月31日まで。

